

「個」が主役になれる「みんなの図書館」をめざして

美賀多台 羽田



みなさんは、「みんなの図書館」というのを聞いたことがありますか？

本を通して人の交流が生まれる「まちライブラリー」の一形態であり、一箱本棚オーナー制度の私設図書館のことです。本棚オーナーは、約 30cm四方の本棚を借りて好きな本を並べます。個性豊かな本棚が並び、みんなで作り育てるコミュニティライブラリーです。

多世代が交流でき、「個」が主役になれる地域の居場所を西神につくりたい！友人とともに「トナルバ」という団体を立ち上げ、活動を始めました。誰かが誰かのそばに寄り添える「隣る場」、そこに集う人の夢や思いが形「と成る場」という意味を込めています。

とはいえ、このニュータウンで物件を探すのは至難の業です。

そこで先日、お薦め本を持ち寄り、紹介しあう「推し本推し活ライブラリー」というイベントをプレンティで開催してみました。自分の好きな本や地域での活動を思い切り「推し」てもらいます。POP を書いたり、本を並べたり、全て参加者の皆さんが「主役」となり、見事な本棚を完成させてくれました。団体、個人あわせて 45 組の参加、集まった本は 171 冊。新たな本や人との出会いを生みながら、赤ちゃんからお年寄りまで 500 名を超える来場者で賑わいました。

本という媒体を通して、人と人はこんなにつながりあえるんだ…「好き」を語る顔は本当に素晴らしい。イベントを終えた今、そんな光景があふれる常設図書館への思いを一層強め、読書会やイベントを重ねながら、空き家などの場所を探しています。

私が大好きな憲法 13 条「すべて国民は、個人として尊重される」

自分が暮らす地域の人たちと一緒に、日常の中でそれを実践するのが私の楽しみであり、平和活動であり、夢でもあります。

